



2026年3月期

決算補足説明資料

株式会社海帆

証券コード：3133

2026年5月15日



会社概要

会社名	株式会社海帆（かいはん）
所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市名村区名駅四丁目15番15号 名古屋総合市場ビル
連絡先	TEL 052-586-2666
創立	2003年5月
代表	守田 直貴
資本金	2,606百万円（2026年3月末日現在）
従業員	80名（113名）（2026年3月末日現在） ※ 使用人員は就業員数であり、（ ）外数は臨時従業員の平均人数（1日8時間換算）であります。 ※ 臨時従業員には、パートタイマー及びアルバイトを含んでおります。 ※ 従業員数は、海帆単体の人数を記載しております。
事業の内容	居酒屋を中心とした飲食店舗の企画開発及び運営
連結子会社	株式会社SSS 株式会社SeaSailUnited（旧：株式会社大三萬年堂LAB） KR ENERGY JAPAN合同会社 KR エナジー1号合同会社 株式会社KaihanMedical 株式会社NEPAL HYDRO POWER HOLDINGS

社是・企業理念

【社 是】

幸せな食文化の創造

当社は、「幸せな食文化の創造」という考えのもと、飲食を通して地域の活性化、新しい食文化の醸成を目的とし社会に貢献し人の幸せにつながる価値のある企業を目指しております。

【経営理念】

常により良い商品と真心のサービスを通じ、 お客様に美味しさと満足を提供します。

常により良い商品……成長性、収益性、経済性、安全性を高めた商品

真心のサービス……お客様第一主義であること

美味しさと満足を提供・顧客、従業員ともの感動満足を共有

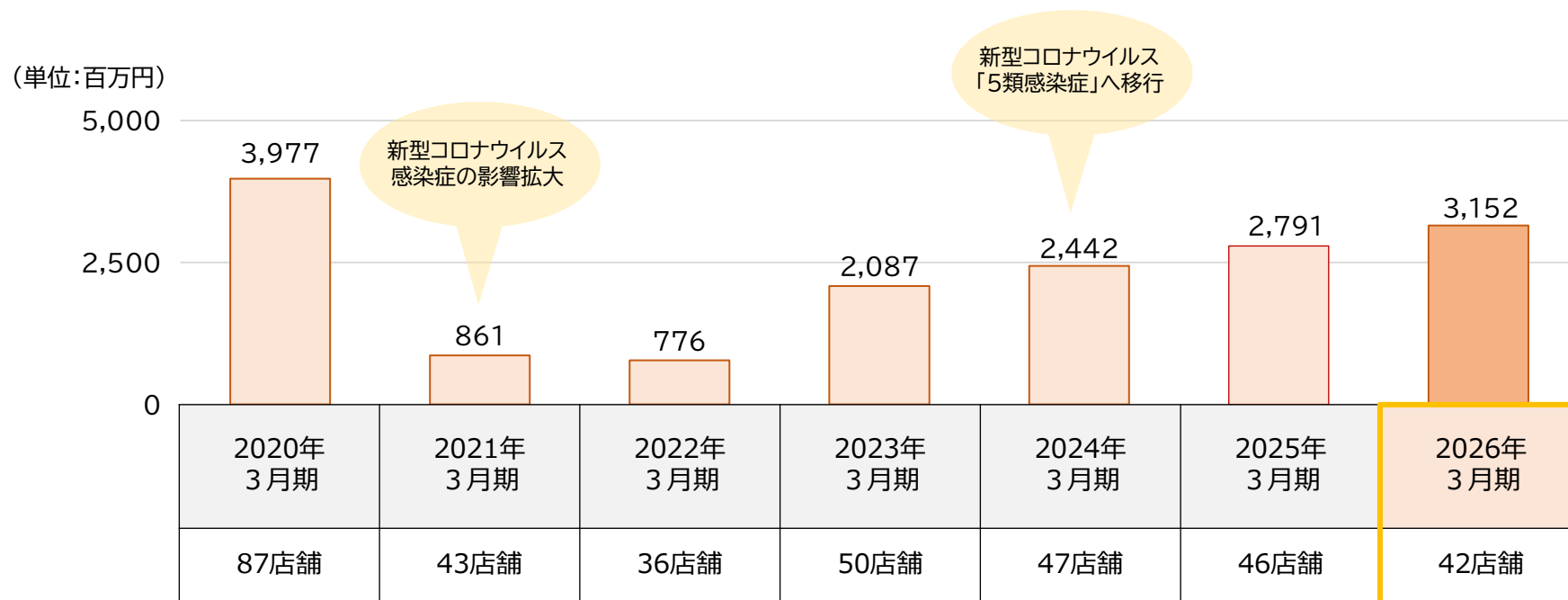
沿革

年	月	主要な事項
2003	5	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号に飲食店の経営を主な事業目的として、有限会社海帆(資本金3,000千円)を設立
	6	名古屋市守山区に第1号店として、「なつかし処昭和食堂 小幡店」を開店
2006	10	有限会社海帆を、株式会社海帆へ商号変更
2009	9	広告代理業務を内製化するために、有限会社アドハンを吸収合併
2010	8	昭和食堂を運営していた、「中京ニックス株式会社」から9店舗を一括取得
2012	3	株式会社魚帆を100%子会社化
2015	4	東京証券取引所マザーズ市場上場
2020	1	株式会社魚帆を清算
2021	5	株式会社ファッツと「新時代」のフランチャイズ契約を締結
2022	4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、マザーズ市場からグロース市場へ移行
	7	株式会社SSSの株式を取得し子会社化
	10	再生可能エネルギー事業参入のため、当社子会社としてKR ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日商号変更)を設立
	12	当社子会社への第三者割当増資により、休眠会社であった株式会社エストを株式会社大三萬年堂LABへ商号変更
2023	3	匿名組合出資によるKREナジー1号合同会社を子会社化
2024	9	株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの株式を取得し子会社化
	12	株式会社ワイデン(商号を株式会社Kaihan Medicalへ変更)を存続会社として株式会社BOBSを吸収合併
2025	4	株式会社NEPAL HYDRO POWER HOLDINGSの株式を取得し子会社化
	10	子会社である株式会社Kaihan Medicalが、合併会社となる株式会社K-Beauty JAPANを設立
2026	1	合併会社となる株式会社Rock海帆を設立(非連結)

売上高の推移（連結）

2026年3月期累計期間の売上高は3,152百万円で着地し、前年同期比は13.0%増となっております。

飲食事業の売上高に関しては前年同期と横ばいであり、売上高増加の要因としては、再生可能エネルギー事業による太陽光発電設備の売電売上による増加と、メディカル事業による売上の増加が影響しております。



※ 1、2020年3月期から2022年3月期は単体決算となっております。

※ 2、2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

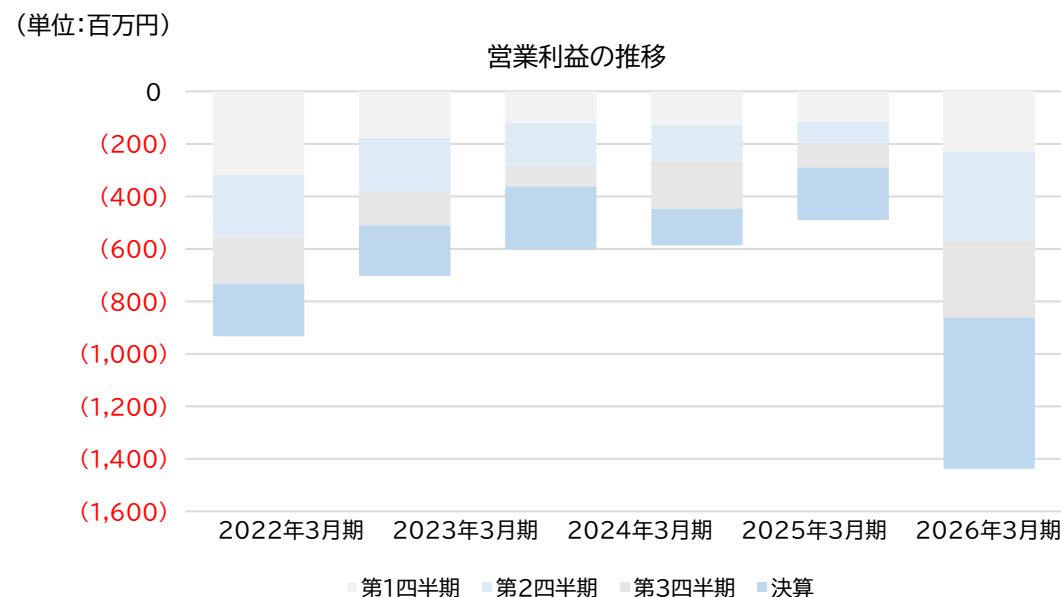
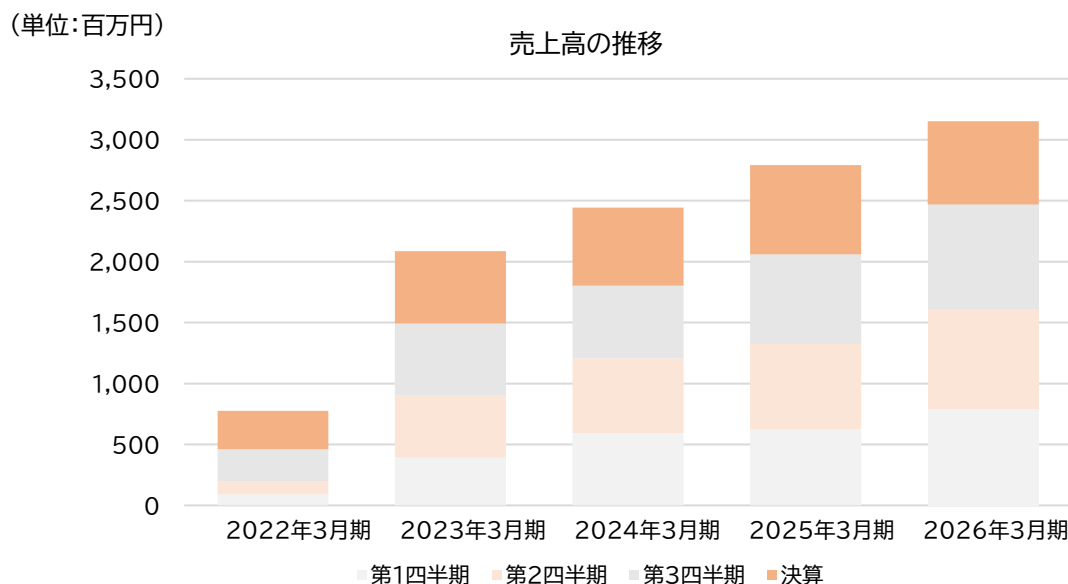
※ 3、2023年7月より再び連結決算に移行しております。

※ 4、店舗数はFC店舗も含みます。

四半期ごとの売上高および営業利益の推移(連結)

2026年3月期累計期間の売上高は、再生可能エネルギー事業における売電収入の増加や、メディカル事業における売上高の増加により、3,152百万円となります。

営業利益においては、飲食事業は今後の展開に向け人材確保と教育による内部体制強化への対応で人件費等が増加、子会社に係る費用の増加、貸倒引当金を新たに計上したことにより、△1,438百万円となります。



損益計算書サマリー

再生可能エネルギー事業およびメディカル事業の拡大により売上高は増加しているものの、新規事業や子会社関連に係る費用の増加、再生可能エネルギー事業の物件取得に係る販管費が増加しております。また、事業に関わる特別損失として減損損失3,353百万円を計上しております。

単位：百万円

		2025/3期 累計期間	2026/3期 累計期間	
		連結	連結	増減
P / L 項目	売上高	2,791	3,152	361
	売上総利益	1,993	2,253	260
	営業損失(△)	△462	△1,438	△976
	経常損失(△)	△504	△1,591	△1,087
	税金等調整前当期純利益(△)	△602	△5,062	△4,460
	親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△737	△5,135	△4,398

※ 2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

貸借対照表サマリー

当連結会計期間末における純資産合計は493百万円(前連結会計年度末比989百万円減少)となりました。

これは主として株式交換及び第三者割当による株式発行等により資本金が917百万円、資本剰余金が3,059百万円それぞれ増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が5,135百万円減少したことによります。

単位:百万円

		2024/3期 連結	2025/3期 連結	2026/3期 連結
B / S 項目	総資産	3,616	4,576	5,016
	負債	2,726	3,093	4,523
	(うち借入総額)	1,724	2,123	1,964
	純資産	890	1,482	493
指標	自己資本比率	24.6%	30.7%	4.9%
	流動比率	58.8%	39.8%	55.8%
	現預金比率	40.0%	22.6%	16.3%

※ 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資本(他人資本+自己資本) × 100 (%)
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
現預金比率 = 現預金 ÷ 流動負債 × 100 (%)

飲食事業

自社業態

関西とんかつ まほろば



葵屋



FC加盟業態

新時代



BABY FACE PLANET'S



しんぱち食堂



飲食事業

当事業年度においては、国内既存店舗の売上高は安定しているものの、国内需要は消費マインドの冷え込みによる消費者の節約志向の高まりからくる来店頻度の減少、食材費や人件費、光熱費等の高騰により収益性を増加させる必要があり、集客方法の見直しや、新たな収益を生み出す取り組みを検討しております。

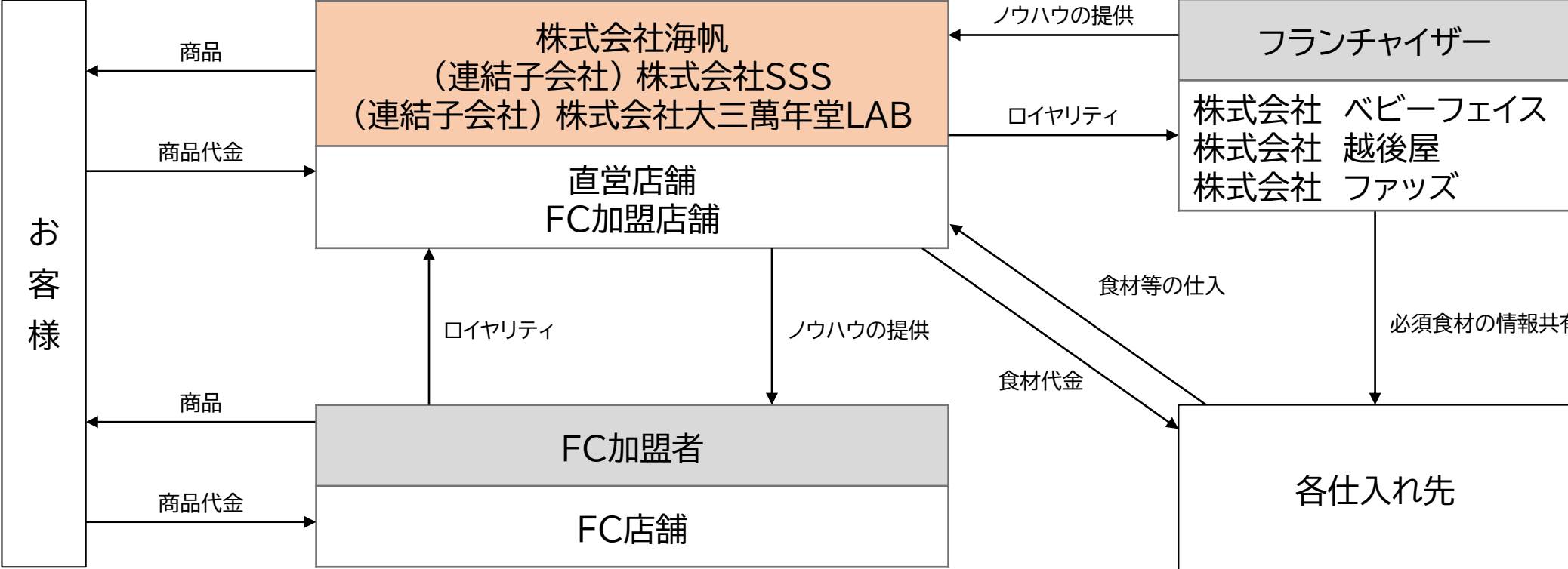
第1四半期において、新業態として「関西とんかつ まほろば」を、千葉県幕張エリアに出店し、「とんかつ」が一番美味しくいただける豚肉を厳選し、自家製の出汁ポン酢で食べるスタイルにて提供しております。数多くのお客様にもご利用いただき、お褒めのお言葉から厳しいご意見まで、様々な感想をいただいております。

お客様のお声を今後の展開に活かし、多店舗展開を出来るような事業モデルにできるよう、商品や店舗オペレーションの確立を行ってまいります。

また、海外においては「麺屋おく村」を、台湾・台北市内に1号店として出店しております。本店舗の出店は、根強い日本食人気とラーメン需要の高さに着目し、現地市場におけるブランド認知の獲得および将来的な多店舗展開の足がかりとすることを目的としており、引き続き、現地での運営状況を注視しながら、アジア地域を中心とした海外展開の可能性を検討してまいります。



飲食事業のビジネスモデル



再生可能エネルギー事業

◆ 長期売電契約

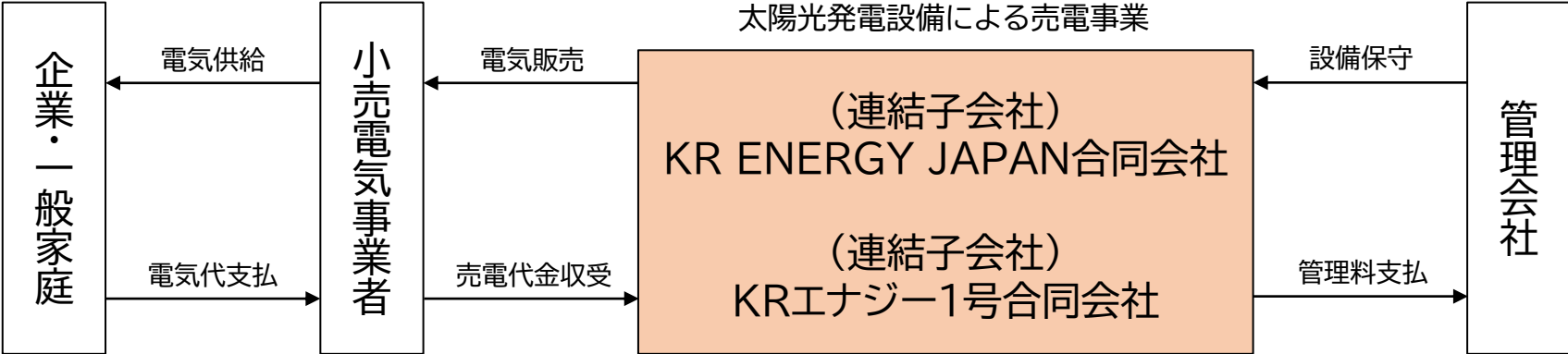
安定的な長期売電契約に基づき、330区画16.335MW-AC のNon-FIT低圧太陽光発電所のうち、330区画を取得し建設完了もしくは建築中となっており、連携済みの物件は150件となっております。

今後も区画取得を行い、再生可能エネルギー事業を拡大してまいります。新たに区画の取得時期などについては、別途適時開示にてお知らせしてまいります。

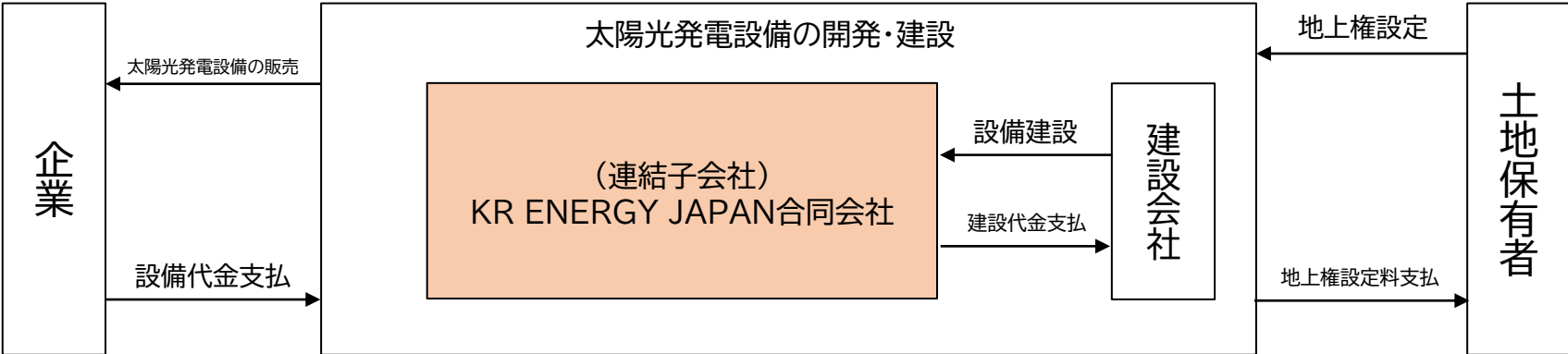


再生可能エネルギー事業のビジネスモデル

太陽光発電による電力の主な売買フロー



太陽光発電設備の開発・建設と販売

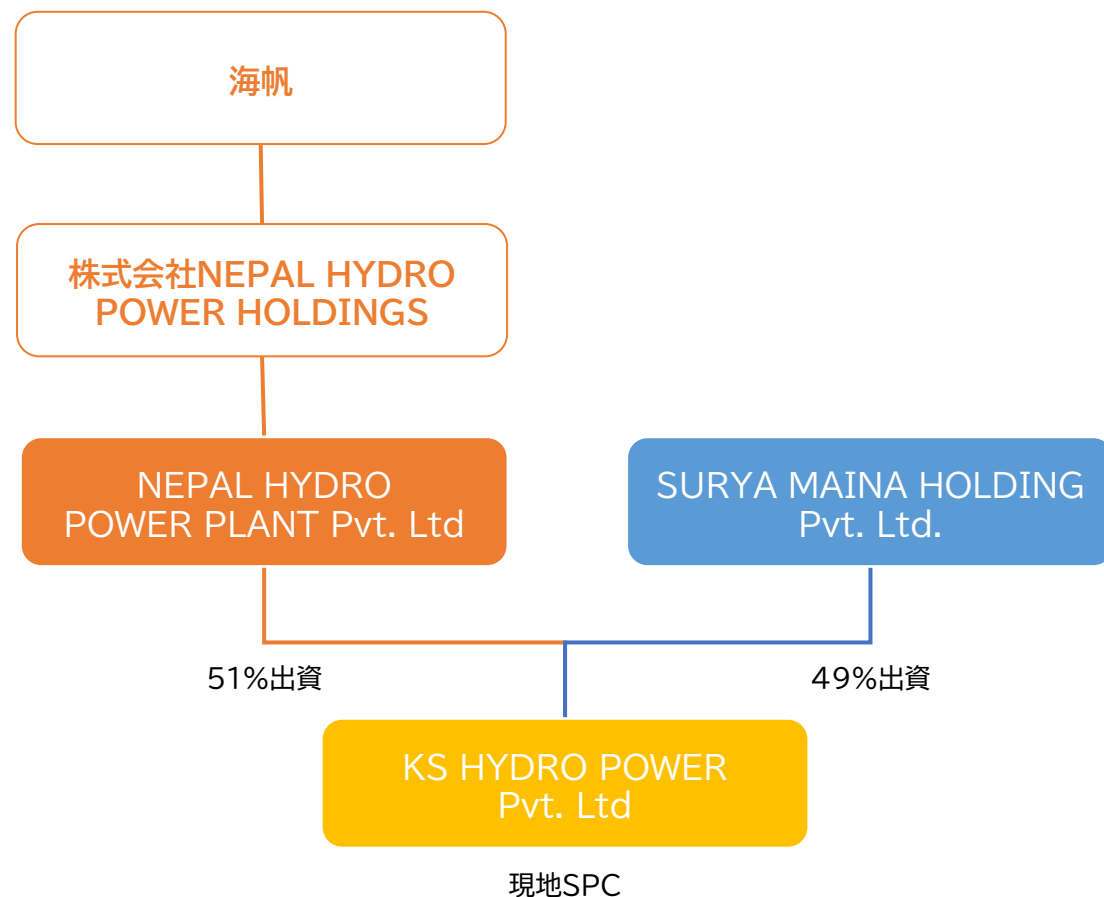


再生可能エネルギー事業

◆ ネパールにおける水力発電事業

2025年2月28日に開示しました「簡易株式交換による株式会社NEPAL HYDRO POWER HOLDINGSの完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、ネパール国内における水力発電事業を推進するにあたり、SURYA MAINA HOLDING Pvt. Ltdと共同でネパール国内に特別目的会社(以下、SPCという。)を設立予定であった、NEPAL HYDRO POWER PLANT Pvt. Ltdの親会社である、株式会社NEPAL HYDRO POWER HOLDINGSを子会社化することを決定し、2025年4月1日の効力発生日をもって当社の連結子会社となりました。

現地SPCとなる、KS HYDRO POWER Pvt. Ltdを設立し、水力発電所の建設に向けて動いております。



再生可能エネルギー事業

◆ ネパールにおける水力発電事業

当社は2025年9月末、現地の一部で発生した暴動等の情勢不安に伴い、保守的な観点から資産の減損処理を行うとともに、同年11月14日には「完全撤退も視野に入れた事業の停止(再検討)」を決定いたしました。

しかしながら、その後の慎重なモニタリングの結果、現地情勢は確実に沈静化し、日常生活および経済活動が正常化していることを確認いたしました。これを受け、当社は2025年12月23日付で、停止していたNHPH社、NEPAL HYDRO POWER PLANT Pvt.Ltd、およびKS HYDROPOWER PVT LTDの全事業を全面的に再開することを正式に決定いたしました。

既に、2つの発電所については土木工事等は進捗しており、発電設備導入の中国電建からも契約内容に関するMOUも到達しております。また、直近ではネパールの投資ファンドであるNational FundのCEOが来日され、今後の協業およびファイナンス支援に関する具体的な協議を行いました。

本件につきましては、当社の方針が決まり次第速やかに公表するよういたします。



5.5MWと13.7MWにおいてトンネル工事が開始



中国電建とのMTG



再生可能エネルギー事業

◆ 系統用蓄電池事業に関して

当社は、系統連系が可能な土地の取得から蓄電池設備の建設・設置・引き渡しまでを一貫して行う事業を展開しております。

2025年6月末時点において、系統用蓄電池の建設期間が約3か月を見込める案件を優先的に精査し、建設及び販売を進める計画でございましたが、本件の計画を推進していく中で、土地や物件、資材の取得に対して約5億円の費用を要することとなり、資金の調達完了次第、実行していく予定でございます。

本件での物件等の取得や資金の状況等に関しましては、当社の方針が決まり次第、適時開示にてお知らせしてまいります。

メディカル事業

2024年2月6日に開示しました「(開示事項の変更)固定資産の取得に関するお知らせ」のとおり、クリニックの開業からマーケティング、広告、プロモーションなどの運営に係る支援を行えるような事業の確立に向けて、現在は「医療法人社団修永会」が運営する美容クリニックの支援を行っております。

2024年9月には、「医療法人大美会」のMS法人であった、株式会社BOBS及び株式会社ワイデンを簡易株式交換により子会社化しており、子会社化した2法人に関しましては、株式会社ワイデンを存続会社、株式会社BOBSを消滅会社とする吸収合併を行い、合併の手続きに加えて商号を株式会社KaihanMedicalへ変更しております。

当該子会社を取得したことにより、本格的にメディカル事業の拡大を開始し、医療法人とより深い信頼関係を構築しつつ、新たなクリニックの開院に関わる物件の取得や、運営支援業務の拡充を行い、更なる事業規模の拡大を目指してまいります。

また、当該子会社にて合併会社、株式会社K-Beauty JAPANを設立し、2025年10月に茨城県水戸市の京成百貨店にて、韓国コスメのイベントを開催いたしました。

今後は、同様のイベントを主要都市にて開催できるように企画中であり、新たなイベントの開催が決定次第お知らせしてまいります。



メディカル事業

◆ 広告宣伝や運営に係るの支援

当社は、2024年9月2日に開示いたしました「簡易株式交換による株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの完全子会社化完了に関するお知らせ」のとおり、医療法人大美会のMS法人であった2法人を、簡易株式交換による子会社化を完了しました。

当該法人を取得したことにより、広告宣伝・予約管理・集客・経営管理・医療機器販売もしくは貸与など、医療法人におけるの経営における主業務をより効果的にサポートできるように事業を確立し、拡大に努めてまいります。

2026年3月期においては、麻布院の開院、さらには名古屋に新規クリニックとなるBelleViaCLINICを開院しました。

今後は、支援する医療法人の広告やSNSに関する業務の精度を上げ、よりお客様にご利用いただけるような支援を行っていくとともに、M&Aも含め病院の再生など新たな収益モデルの検討等も取り組んでまいります。

運営支援する主なクリニック

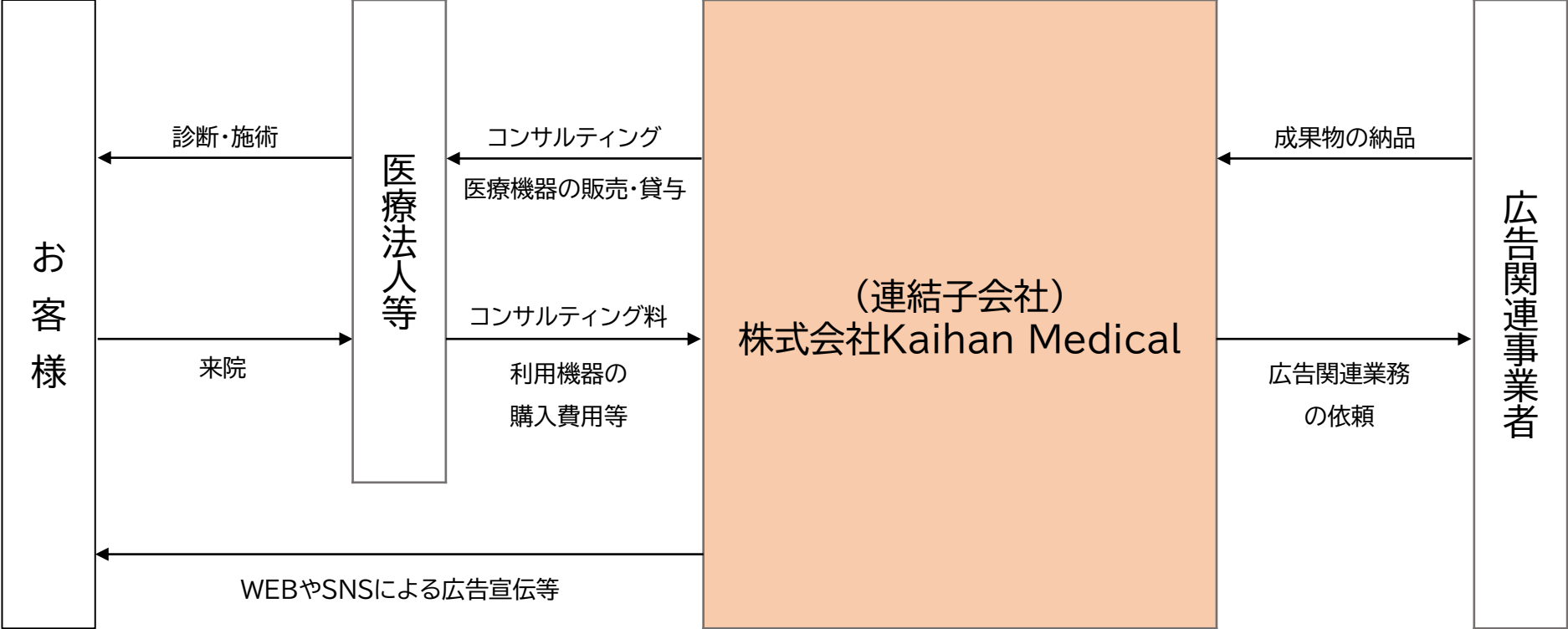


写真：愛知県名古屋市 BelleViaClinic 受付



写真：大阪府大阪市 大美会クリニック

メディカル事業のビジネスモデル



— 本資料等に関する注意事項 —

本資料につきましては、当社グループが現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものが含まれており、これらとは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。従って、実際の業績が、本資料の予想とは大きく異なる可能性がございます。

各データや資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、あくまで当社をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

【お問合せ先】

株式会社海帆 IR担当

E-mail : ir@kaihan.co.jp